

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	静岡福祉大学
設置者名	学校法人静岡精華学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
社会福祉学部	福祉心理学科	夜・通信	4	8	6	18	13	
	健康福祉学科	夜・通信			6	18	13	
子ども学部	子ども学科	夜・通信			-	13	17	13
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表： https://suw.ac.jp/about/release/support/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	静岡福祉大学
設置者名	学校法人静岡精華学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://s-seika.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/yakuintoumeibo.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2023. 12. 21 ～ 2027. 12. 20	経営全般に関する 助言
非常勤	社会福祉法人理事長	2023. 12. 21 ～ 2027. 12. 20	財務全般に関する 助言
非常勤	学校長	2023. 12. 21 ～ 2027. 12. 20	学校運営に関する 助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡福祉大学
設置者名	学校法人静岡精華学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・授業計画書の作成 シラバス記載要領に基づき授業科目担当教員が作成後、学内組織による第3者チェックを行い必要に応じて修正することにより適切なシラバスを作成している。 ・公表に係る取組 学生及び教職員にはWeb（学務システム）で閲覧可能となっている。 また、ホームページに掲載し、学外者も閲覧可能となっている。	
授業計画書の公表方法	・学務システム シラバス検索 ・ホームページ シラバス検索 https://manabi.suw.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学修意欲の把握は学生生活調査や学科のアドバイザーによる面談により行っている。 授業科目ごとに成績評価方法をシラバスに明記し、学生に示している。 授業科目担当教員が社会福祉学部履修規程及び子ども学部履修規程に基づく評価基準により評価し、単位を認定している。 また、資格取得等のために実施する実習に関する授業科目については、実習先の指導者による評価を基に、学内の実習委員会による協議を経て単位認定を実施している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・ GPA の客観的な指標 社会福祉学部履修規程及び子ども学部履修規程に定める方法に基づき GPA を算出している。成績評価のうち、秀を 4.0、優を 3.0、良を 2.0、可を 1.0、不可を 0 に換算した数値をそれぞれの評価点（以下「GP」という。）とし、履修登録した授業科目の GP に当該授業科目の単位数を乗じて得た数値の合計を履修登録した授業科目の総単位数で除して算出する。算出した GPA に小数点第 3 位以下の端数が出た場合には、小数点第 3 位を四捨五入する。 学生に対しては、学生便覧に GPA の指標に関する項目を掲載し、周知している。また、ホームページにも掲載している。 ・ 成績の分布状況 各学科、学年ごとの GPA 分布図を作成し、分布状況を把握している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	・ 学生便覧 新入生には 4 月のオリエンテーションで配布 在校生は Web（学務システム）による閲覧 ・ H P GPA 制度 https://suw.ac.jp/media/2024.about.2.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマ・ポリシーを学生便覧に掲載し、新入生にはオリエンテーションで説明している。その他、ホームページ、大学案内、学生募集要項等に掲載し広く公表している。 また、学則に定める卒業要件について、カリキュラム表に掲載し周知している。ディプロマ・ポリシー及び卒業要件に基づき卒業判定を行い卒業認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	・ 学生便覧 新入生には 4 月のオリエンテーションで配布 在校生は Web（学務システム）による閲覧 ・ H P ディプロマ・ポリシー https://suw.ac.jp/about/outline/policy/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	静岡福祉大学
設置者名	学校法人静岡精華学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://s-seika.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/r6_6_taisyakutaisyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://s-seika.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/r6_1_sikinsyuusikeisansyo.pdf
財産目録	https://s-seika.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/r6_zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	https://s-seika.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/r6_jigyohoukokusyo.pdf
監事による監査報告(書)	https://s-seika.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/r6_kansahoukokusyo.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページにて https://suw.ac.jp/about/release/appraisal/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.jihee.or.jp/search/result_report.php?fyear=2023

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 社会福祉学部、子ども学部
教育研究上の目的（公表方法： https://suw.ac.jp/about/outline/introduction/ ）
（概要） 1) 社会福祉学部 「時代に即応する新しい人材の育成」という建学の精神のもと、変動する現代社会の本質をとらえ、課題解決のリテラシーをもつ人材を育成するとともに、福祉、心理、健康などの学際的な分野に関する教育・研究をととして社会全体のウェルビーイングをめざす。 2) 子ども学部 変動する現代社会の課題に取り組むために必要な資質・能力を理解し、一人ひとりの多様な個性に寄り添い見守ることができる教育者、保育者を育成するとともに、教育、保育、福祉に関する課題解決に向けた教育・研究をととして社会全体のウェルビーイングをめざす。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法： https://suw.ac.jp/about/outline/policy/ ）
（概要） 修得単位上の卒業要件を満たし、次の目標を達成した学生に学士の学位を授与する。 1) 社会福祉学部 福祉心理学科 ○共生社会づくりにつながる、基礎的な知識・技能を身に付けている。 ○多様な価値観を理解し、共に生きる社会をめざして行動できる。 ○高い倫理観をもち、他者と協働して新たな価値を創造することができる。 ○ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ○ソーシャルワークや心理的支援の専門的視点から明確な課題意識をもち、論理的に自分の考えを創ることができる。 ○福祉や心理に関する諸課題の解決のために学び続ける意思をもっている。 2) 社会福祉学部 健康福祉学科 ○共生社会づくりにつながる、基礎的な知識・技能を身に付けている。 ○多様な価値観を理解し、共に生きる社会をめざして行動できる。 ○高い倫理観をもち、他者と協働して新たな価値を創造することができる。 ○ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークに関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ○ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークの専門的視点から明確な課題意識をもち、論理的に自分の考えを創ることができる。 ○健康や福祉、介護、医療に関する諸課題の解決のために学び続ける意思をもっている。 3) 子ども学部 子ども学科 ○共生社会づくりにつながる、基礎的な知識・技能を身に付けている。 ○多様な価値観を理解し、共に生きる社会を目指して行動できる。 ○高い倫理観をもち、他者と協働して新たな価値を創造することができる。 ○教育や保育に関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ○教育や保育の専門的視点から社会に課題意識をもち、論理的に自分の考えを創ることができる。 ○教育や保育に関する諸課題の解決のために学び続ける意思をもっている。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://suw.ac.jp/about/outline/policy/)
(概要) 社会全体のウェルビーイングをめざして積極的に実践できる人材を育成し、もって福祉や教育に関する専門的な知識・技能及び学際的な教養を活かして広く社会で活躍できる人材を育成することを教育目標とする。 教育目標の達成のために、共通社会づくりをめざして市庁として責任を果たすための教養に関する「全学共通基礎科目」と、各学科で以下の専門科目を設置する。 福祉心理学科：共通専門科目に加え、心理・臨床心理、精神保健、スクールソーシャルワークの3分野による専門科目を設置。・健康福祉学科：共通専門科目に加え、介護福祉（Ⅰ群・Ⅱ群）、健康福祉、医療福祉の4分野からなる専門科目を設置。・子ども学科：教育と保育、家庭支援と福祉、地域と子育て支援、発達障害児と保護者支援、卒業研究の5分野で専門科目を設置。さらに、広く教養を身に付けるために、他学科・他学部の専門科目の受講を認める（条件あり）。科目とDPの関係、科目間の関係はカリキュラムマップ、カリキュラムツリーにより明らかにする。 共生社会の担い手を育成するため、7分野（外国語、人文科学、社会科学、自然科学、スポーツ、総合基礎、情報）の教養科目を配置。学科ごとに以下の専門科目群および資格養成課程を設置する。 福祉心理学科：社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、スクールソーシャルワーカーの養成課程を設置し、専門知識と汎用的技能を養う。・健康福祉学科：社会福祉士、介護福祉士、健康運動実践指導者の養成課程を設置し、実践的なスキルを習得。・子ども学科：子どもの発達・支援・保育に関する科目を配置し、幼稚園教諭、小学校教諭、保育士の養成課程を設置。 また、一人ひとりに寄り添う少人数教育、充実したキャリア教育、アクティブ・ラーニングを実施する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://suw.ac.jp/about/outline/policy/)
(概要) 1) 社会福祉学部 福祉心理学科 ・共に生きる社会をめざすことに共感できる人 ・多様な人たちの価値観を大切にする態度を身に付けている人 ・他者と協働することを理解している人 ・入学後の修学に必要な基礎学力がある人 ・福祉や心理について関心をもっている人 ・福祉や心理に関する諸課題を解決したいという意欲をもっている人 2) 社会福祉学部 健康福祉学科 ・共に生きる社会をめざすことに共感できる人 ・多様な人たちの価値観を大切にする態度を身に付けている人 ・他者と協働することを理解している人 ・入学後の修学に必要な基礎学力がある人 ・健康や福祉、介護、医療について関心をもっている人 ・健康や福祉、介護、医療に関する諸課題を解決したいという意欲をもっている人 3) 子ども学部 子ども学科 ・共に生きる社会をめざすことに共感できる人 ・多様な人たちの価値観を大切にする態度を身に付けている人 ・他者と協働することを理解している人 ・入学後の修学に必要な基礎学力がある人 ・子どもが好きで教育や保育について関心をもっている人 ・教育や保育に関する諸課題を解決したいという意欲をもっている人
②教育研究上の基本組織に関すること
公表方法：ホームページ https://suw.ac.jp/about/release/education/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
社会福祉学部	－	14 人	8 人	3 人	0 人	0 人	25 人
子ども学部	－	6 人	3 人	2 人	1 人	1 人	13 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		59 人					59 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：https://suw.ac.jp/about/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会福祉学部	160 人	112 人	70.0%	660 人	463 人	70.2%	8 人	1 人
子ども学部	70 人	30 人	43.8%	280 人	141 人	50.4%	0 人	0 人
合計	230 人	142 人	61.7%	940 人	604 人	64.3%	8 人	1 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
社会福祉学部	102 人 (100%)	2 人 (2.0%)	93 人 (91.1%)	7 人 (6.9%)
子ども学部	35 人 (100%)	0 人 (0%)	33 人 (94.3%)	2 人 (5.7%)
合計	137 人 (100%)	2 人 (1.5%)	126 人 (92.0%)	9 人 (6.5%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項）				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ・授業計画の作成 シラバス記載要領に基づき授業科目担当教員が原案を作成後、学内組織による第3者チェックを行い、必要に応じて修正を依頼している。 ・公表（4月） 学生及び教職員は、Web（学務システム）で閲覧可能となっている。 また、ホームページに掲載し、学外者も閲覧可能となっている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 社会福祉学部履修規程及び子ども学部履修規程に基づき、授業科目ごとに適切な方法による成績評価基準をシラバスに明記し、学生に示している。 シラバスに記載した方法により、授業科目担当教員が成績評価を実施し、単位を認定している。 また、資格取得等のために実施する実習に関する授業科目については、実習先の指導者による評価を基に、学内の実習委員会による協議を経て単位認定を実施している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
社会福祉学部	福祉心理学科	124 単位	有・無	単位
	健康福祉学科	124 単位	有・無	単位
子ども学部	子ども学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://suw.ac.jp/about/release/education/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
社会福祉 学部	福祉心理 学科	540,000 円	300,000 円	477,760 円	
	健康福祉 学科	540,000 円	300,000 円	477,760 円	
子ども 学部	子ども 学科	540,000 円	300,000 円	477,760 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ①経済的援助を必要とする学生に対する各奨学金制度の設置 ②学科ごとの教員アドバイザー制度（アカデミックアドバイザー制度） ③学生生活調査実施による学生からの要望等の把握 ④各実習指導センターにおける実習指導に関わる支援 ⑤聴覚障害のある学生への聴覚機器の貸し出し
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ①キャリア支援に関する科目の開設 ②キャリア支援課による進路相談や就職採用試験対策、面接試験対策などの指導支援 ③国家試験対策講座の実施 ④学内企業研究セミナーの開催 ⑤教員採用試験対策サポート
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ①健康推進課で行う心と体の支援について ②心理カウンセラー等による相談支援 ③学生サポートセンターによる、授業及び定期試験に対しての合理的配慮の必要な学生への特別措置申請による支援

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにて https://suw.ac.jp/about/release/education/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。